

第44回施設園芸総合セミナー・機器資材展 開催要領

テーマ：SDGs 対応の展望・課題とスマートグリーンハウス展開に向けて

<日時> 2023年2月 9日(木) 12:00~17:30

2月10日(金) 9:20~17:00

<会場> タワーホール船堀・大ホール (東京都江戸川区船堀4-1-1)

<主催> 一般社団法人 日本施設園芸協会

<後援> (申請中)

<協賛(予定)> 全国農業協同組合連合会 (一社) 全国農業改良普及支援協会
全国野菜園芸技術研究会 (一社) 農業電化協会

<参加費(テキスト代)> 6,000円(税込み) (協会会員・農業生産者は3,000円)

<申込み・問い合わせ先>

一般社団法人日本施設園芸協会

〒103-0004 東京都中央区東日本橋3-6-17

TEL 03-3667-1631 FAX 03-3667-1632

URL <http://www.jgha.com> E-mail jgha-seminar@ml.jgha.com

<出展の申込み・問い合わせ先>

園芸情報センター

〒101-0048 東京都千代田区神田司町2-21

TEL 03-3233-3634 FAX 03-3233-3666

URL <http://www.agripres.co.jp/engei/20xxs.htm>

E-mail engei@agripres.co.jp

<日程>

2月9日(木)

12:00 開場、機器資材展示見学開始

<開会>

13:00~13:20 開会 主催者挨拶、来賓祝辞

<第1部> SDGs に対応した施設園芸の課題と展望

13:20~13:40 農山漁村における自律分散型エネルギーシステムの技術戦略策定

櫻谷満一氏 (NEDO 技術戦略研究センター 新領域・融合ユニット長)

13:40~14:20 再エネを地産地消する農山漁村エネルギーマネジメントシステム (VEMS)
とゼロエネルギーグリーンハウス (ZEG) の取り組み

石井雅久氏 (農研機構 農村工学研究部門 地域資源利用・管理グループ長補佐)

14:20~14:50 再エネ利用による宮古島植物工場実証の取り組み

庄子和博 氏（電力中央研究所 グリッドイノベーション研究本部研究推進マネージャー）

(14:50~15:20 出展者プレゼンテーション・機器資材展示見学)

15:20~16:00 資源循環を目指した農廃プラを含む廃プラ処理の現状と課題

竹谷裕之氏（名古屋大学 名誉教授）

16:10~16:40 ゼロエミッションに向けて施設園芸が考えなければならないこと

丸尾 達 氏（(公財)園芸植物育種研究所 理事長）

16:40~17:00 パネルディスカッション「ゼロエミッションに向けたエネルギー利活用と資源循環」

コーディネータ 岡田邦彦（(一社)日本施設園芸協会 理事兼参事）

パネラー 第1部 講演者、農林水産省施設園芸関係担当官

(17:00~17:30 機器資材展示見学)

2月10日（金）

9:20 開場、機器資材展示見学開始

<第2部> スマートグリーンハウスの現状と課題

10:00~10:30 スマートグリーンハウスなど施設園芸関係施策について

浅見 武人氏（農林水産省農産局園芸作物課 課長補佐）

10:30~11:00 ICTエンゲージメント環境整備と自走型チームの育成

長嶋 智久 氏（絹島グラベル 代表）

11:00~11:30 データを活用した作業管理と人事評価の連動

若江 俊英 氏（株式会社いわて若江農園 代表）

(11:30~12:00 出展者プレゼンテーション)

(12:00~13:00 昼食休憩・機器資材展示見学)

(13:00~13:10 施設園芸技術指導士資格取得者紹介)

13:10~13:50 計算できるキュウリの生産管理を目指して

山ノ上 慎吾 氏（スタディクラブ ラプター会 会長・やまのうえ農園 代表）

13:50~14:30 スマートグリーンハウス展開推進のための人材育成

吉田 征司 氏（JA全農 耕種総合対策部 施設園芸企画室長）

14:30~15:00 施設園芸分野における情報の標準化と農機APIの取組

安場健一郎氏（岡山大学 環境生命科学学域 教授）

(15:00～15:10 休憩)

15:10～16:30 **パネルディスカッション「スマートグリーンハウスの展開を目指して」**

コーディネーター 東出 忠桐 氏

(農研機構 野菜花き研究部門 研究推進部長)

パネラー 第2部講演者、農林水産省施設園芸関係担当官

(16:30～17:00 機器資材展示見学)

<機器資材展> セミナーの期間を通じて、施設園芸に関わる最新の機器資材を展示します。収量・品質向上、環境負荷軽減、低コスト化、省力化・作業労力軽減・快適化などをめざした新機能資材・機器等です。

<オンデマンド配信について>

3月3日(金)～24日(金)に、オンデマンド配信を予定しております。参加費は会場での参加費(テキスト代)と同額、6,000円(税込み)、協会会員・農業生産者は3,000円です。なお、会場での参加費(テキスト代)をお支払い頂いた方は、追加料金なしで視聴頂けます。申込み締め切りについては、会場参加とは異なる予定ですので、詳細は協会HPでご確認下さい。